

木瀬川ふるさと祭り「秋の例大祭」

10月1日(土曜日) 午前11時～ 参加者:26名(当番町・5町内氏子代表・関係団体)
コロナ禍の中、今年も「ふるさと祭り」は3年連続中止で、日枝神社宮司を迎え厳かに神事のみが行われました。

【木瀬川八幡神社略歴】

(境内 364.89 坪、13 等級)

治承4年【1180】、源頼朝は平家の戦い「富士川の合戦」黄瀬川に陣を張りました。木瀬川開祖と言われる大古田家は大地主として名主を務める家柄であり、当時、頼朝の陣屋の一つに使用され、当時の当主大古田半左衛門に八幡大菩薩の石像とお墨付きをたまわりました。半左衛門は所有地の隅にお堂を建て祀りました。

明治維新に、この神社は村に寄附され、御神体は当主昇九郎が持参したため長い間御神体のない神社といわれています。

昭和23年、須磨・鈴木・中山の3氏の尽力により、鎌倉鶴岡八幡宮より御神体を授かり、現在にいたります。

なお、末社には山神社などが祀られています。また、元禄六癸酉年九月【1694】の灯籠があります。

本殿(覆殿)



本殿



拝殿



神事風景

境内社